

事務事業名		下水道施設整備事業(管渠)		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input checked="" type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業			
政策体系	政策名	02 自然豊かな環境の保全と創造		事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 3 年度～ 25 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		予算科目			
	施策名	04 良好な河川・港環境の保全				会計	款	項	目
	基本事業名	01 公共下水道等の整備				13	01	01	03 00
根拠法令		下水道法、大船渡市下水道条例							
所属	部課名	都市整備部 下水道事業所							
	係名	建設係	電話	0192-27-3111					
			内線	200					
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)			
<p>本事業は、快適な生活環境の改善と大船渡湾をはじめとする公共用水域の水質保全を図るため、家庭や企業から排出される汚水を道路の地下に埋設する管渠に接続し、大船渡浄化センターで浄化処理を行うための管渠整備を行う事業である。現計画の計画年度が25年度となっていることから、実施計画の変更を行い事業年度、事業範囲の変更を行う。</p> <p>また、その目的達成のため、下水道に関する調査研究、下水道用規格の制定と検査、下水道賠償責任保険事業等を行っている日本下水道協会の会員となり、負担金を支払う。</p>						総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金	7,685,449
							事業内訳	都道府県支出金	
								地方債	11,660,300
								その他	1,021,409
								一般財源	1,011,464
								事業費計(A)	21,378,622
人件費	正規職員従事人数								
	延べ業務時間								
	人件費計(B)	0							
トータルコスト(A)+(B)		21,378,622							

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 管渠整備延長 L=1,787m	今年度計画(今年度に計画している主な活動) 管渠整備延長 L=3,847m	名称	単位
		ア 年間管渠整備面積	ha
		イ 年間管渠整備人口	人
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 計画処理区域に住居する人	③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 管渠を整備し、大船渡浄化センターまで確実に汚水を排水する	名称	単位
		カ 計画処理面積	ha
		キ 計画処理人口	人
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 港湾・河川への環境負荷を軽減し、公共用水域の水質を保全する。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	名称	単位
		サ 整備率(整備済面積/整備対象面積)	%
		シ	
		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円		130,000	250,000	250,000	250,000	350,000
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円		155,000	301,000	301,000	301,000	410,000
		その他	千円		35,000	29,000	29,000	29,000	40,000
		一般財源	千円						
	事業費計(A)		千円	0	320,000	580,000	580,000	580,000	800,000
	人件費	正規職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
		延べ業務時間	時間	5,300	5,300	5,300	5,300	5,300	5,300
		人件費計(B)	千円	21,200	21,200	21,200	21,200	21,200	21,200
		トータルコスト(A)+(B)		千円	21,200	341,200	601,200	601,200	601,200
⑤ 活動指標	ア	ha	394.1	394.1	414.1	434.1	454.1	470	
	イ	人							
	ウ								
⑥ 対象指標	カ	ha	666	666	805	805	805	805	
	キ	人	15,320	15,320	19,420	19,420	19,420	19,420	
	ク								
⑦ 成果指標	サ	%	28.1%	28.1%	29.5%	30.9%	32.3%	33.5%	
	シ								
	ス								

事務事業ID	0713	事務事業名	下水道施設整備事業(管渠)
--------	------	-------	---------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	都市化の進展や生活様式の変化等に伴い、工場・事業所等からの排水や生活排水が、市内の中小河川或いは都市下水路等を通じて湾内に流入し、水質汚濁が大きな問題となってきたことによる。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	事業着手時と比較すると、人口減少や少子高齢化、近年の厳しい財政状況など、社会情勢が変化してきている。その中で岩手県では、より経済的で効率のよい整備を進めるため、「新・全県域汚水処理構想2011」を平成22年度に策定し、本市においても整備手法・整備区域等の見直しを行っている。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	地域住民からは、早期整備を要望されている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ この事務事業の目的は本市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 下水道管渠施設の整備は、快適な生活環境の改善につながり、その結果、自然豊かな環境の保全と創造に結びつく。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ なぜこの事業を本市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 本事業は、都市の健全な発展及び公衆衛生の工場に寄与し、公共用水域の水質の保全に資することを目的とした下水道法に基づき、市町村が設置を行うことが定められており、市で実施しなければならない。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 平成16年度において、岩手県が作成した「汚水処理施設の効率的整備計画策定マニュアル」に基づき、公共下水道、農・漁集落排水、合併浄化槽など、多様な整備手法の中から建設費及び維持費の経済比較を行い対象である処理区域の見直しを行っており、対象・意図は適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 工事費のコスト削減を図れば管渠整備面積の拡大につながり、整備率の向上が図られる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 事業を廃止・休止すれば、汚水の適正な処理が出来ない区域が残され、快適な生活環境の改善と大船渡湾をはじめとする公共用水域の水質保全が図られない。また、岩手県で策定した「いわて汚水処理ビジョン2010」の目標整備率を達成することができない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒【理由】⇒ (具体的な手段, 事務事業) 漁業集落排水、合併処理浄化槽 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ コスト面で公共下水道による整備が有利であるため。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 工事費のコスト削減を図ることによって、事業費を削減することができる。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど) 設計業務等は専門のコンサルタントに委託している。工事の発注に関わる設計・積算・監督・住民対応等は、発注者としての専門性を有する業務であり、削減することはできない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 下水道利用者からは受益者負担金及び使用料を徴収しており、負担は適正である。

事務事業ID	0713	事務事業名	下水道施設整備事業(管渠)
--------	------	-------	---------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点) 特になし</p>									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善) </div> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>公共下水道の管渠整備は、快適な生活環境の改善と環境の保全のために重要な事業であるが、事業年数が長期にわたり事業費も多大である。そのもとで、コストを縮減しながら整備率を上げていくことが課題であるが、下水道管の埋設工法は日々進歩しており、新技術の採用などによりコストを縮減し、整備面積を拡大していくことが求められる。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	●		×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持	●		×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</p> <p>低コストの新規工法を導入していくためには、新規工法を学ぶ機会が必要だが、これまでは研修の場が限られていた。より積極的に新規工法の研修の場に参加し知識を習得する必要がある。</p>																						

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	下水道事業所長	
-------	---------	--

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている <p>②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <p>公共下水道は事業年数が長期にわたり事業費も膨大である。管渠埋設工事のコストを縮減を図りながら整備率を向上させる必要がある。</p>									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善) </div> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>新技術導入によるコスト縮減を図るため技術研修への参加、他市との情報交換を行なう。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	●		×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持	●		×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

<p>(1) 行政経営推進会議等での指摘事項</p>
